

脳卒中片麻痺患者に対するアプローチ

～基礎知識と障害の捉え方～ 前編



研修の目標

- 人の典型的な動きと、その神経系のメカニズムを理解する
- 脳卒中片麻痺患者の障害像を理解する
- 具体的な動作分析・活動分析を行い、治療ができる（実技）
- 研修内容を臨床に落とし込める（質の向上）

Key word

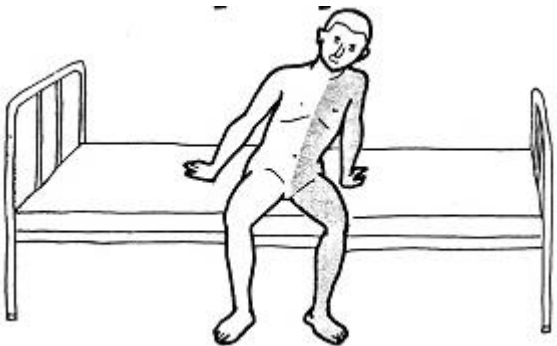
- 姿勢 (posture)
- 姿勢コントロール (postural control)
- 多関節運動連鎖 (kinetic chain)
- 外側運動制御系/内側運動制御系
- Feedforward /Feedback
- 身体図式 body schema/body image
- 運動学習
- 感覚/知覚
- バランス (Steady state, Proactive, Reactive)

運動・活動の背景

動作は姿勢の連続 posture to posture

運動パターンは姿勢(構え)の延長

ひとつひとつの姿勢を考える事は重要



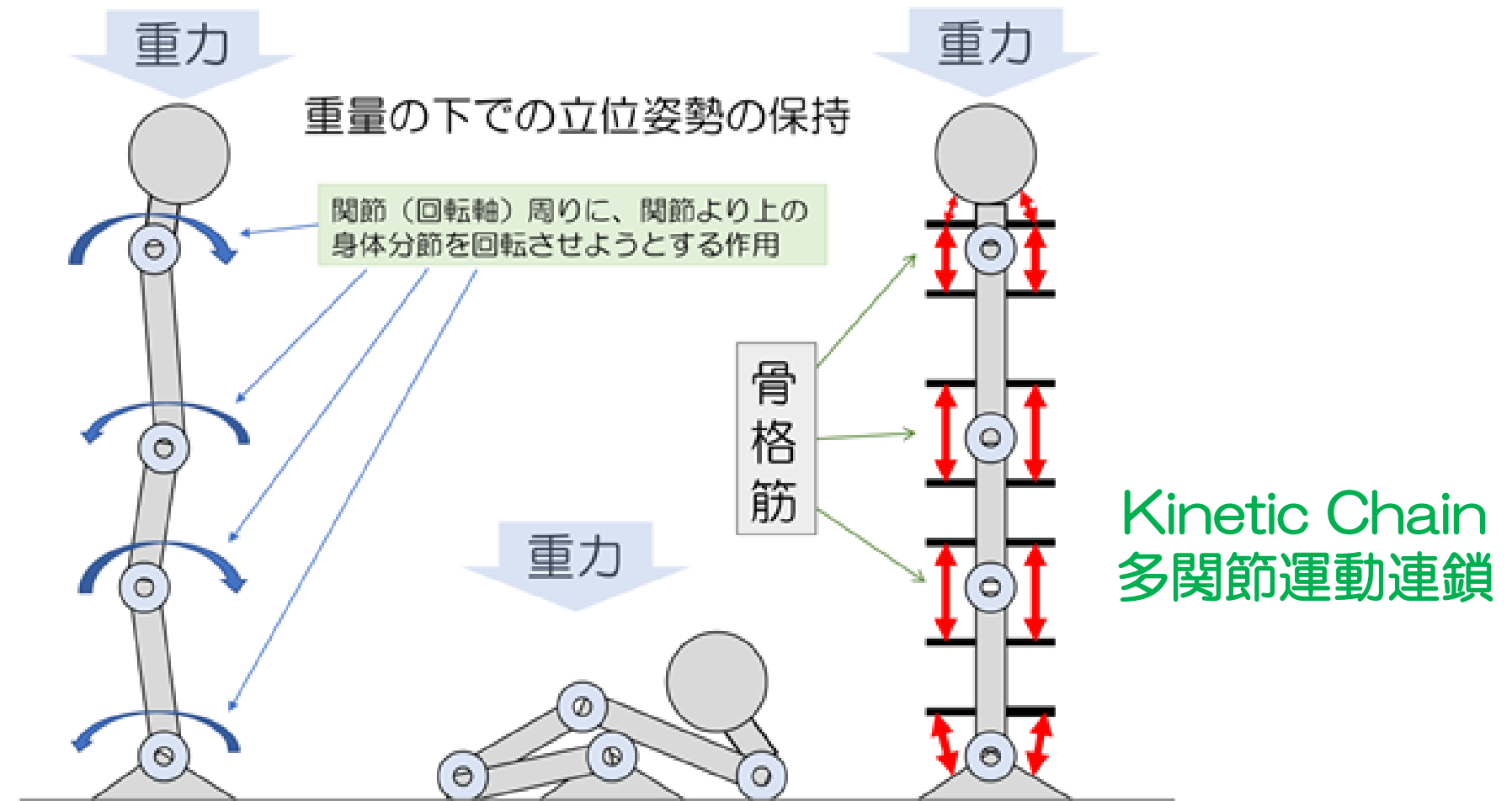
運動・活動の背景

- ◆姿勢をつくるのは『mechanical』な一面と『中枢神経系』の働き
(姿勢制御・運動制御)
- ◆運動・活動には中枢神経系が必要
(バランス、感覚、フィードフォワード・フィードバック機構etc)
- ◆中枢神経系の制御がある
⇒課題特性に応じて変幻自在に動くことができる



◎重要

重力下での立位姿勢の保持



安定性を軸とする生体力学と筋活動を制御する神経系の機能がバランスの基盤